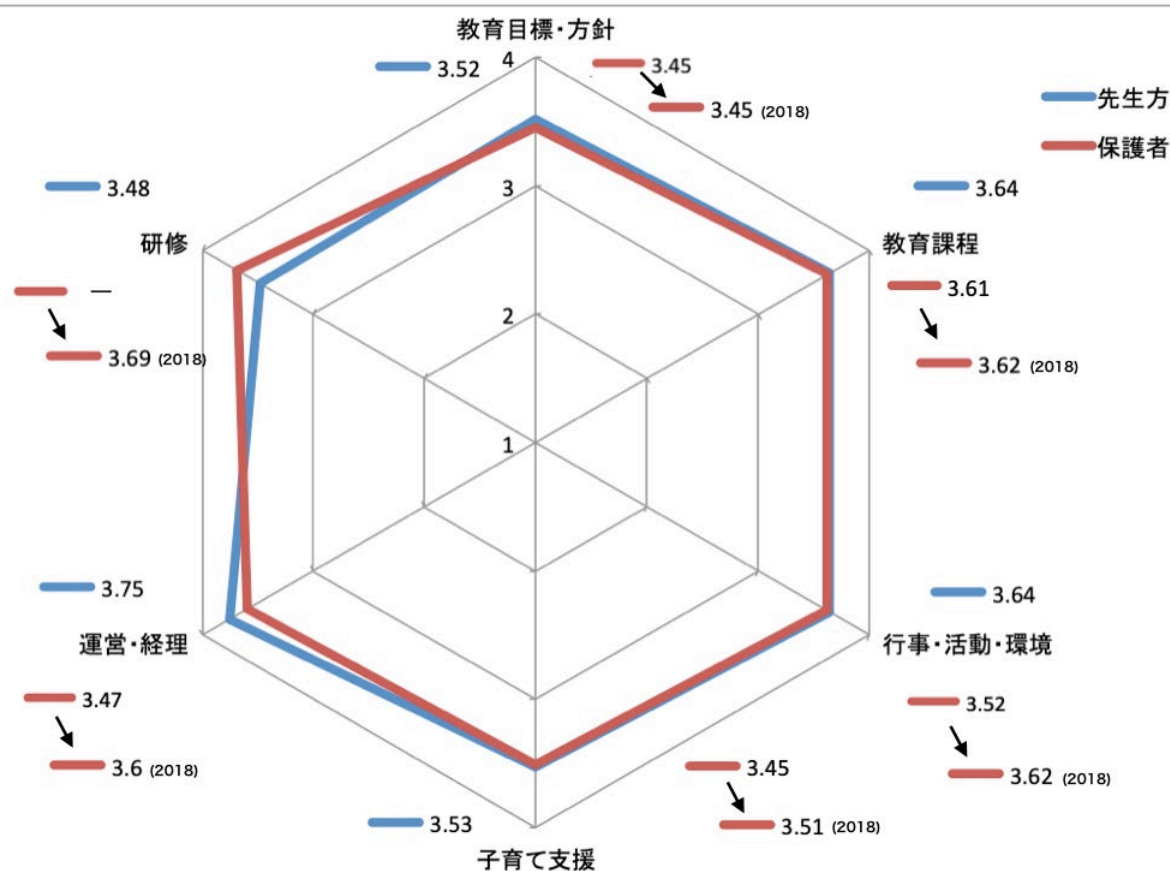


# 1. 関係者（職員と保護者）による学校評価

2017→2018



## <言えること>

1. 職員と保護者の評価項目を同一にして評価して頂いた。結果、やはり、保護者の円が小さく職員に対して厳しい。また、職員と保護者の評価点がほぼ同じで二者の最も差が大きい所で運営・経営の0.15である（2017年度も同じ傾向）。
2. また、研修の項目も保護者の方々は、分からないと言いつつ、6割が評価してくださった。とてもありがたい。学校評価と言う課題に職員も保護者も経営側も率直に向き合い、開かれた学校づくりに歩みださないといけないと感じた。
3. 教育目標についても職員からこれまでより踏み込んだ反省や課題が出されている。教育の課程についても同様で、お互いの話し合いや研修の分かち合いなど、互いの質を高めていく実践をしたいと意欲十分である。先生方のやる気に大いに期待したい。
4. 南部小との交流や地域にある施設などの利用について親たちはあまり知らないもので、もっと宣伝したい。また散歩のときの子どもたちの挨拶が足りないことが挙げられている。
5. 保護者の声（その他・ご意見など）では子どもや保護者に対する先生方の接し方が丁寧で温かい言葉や、励ましが多く、親たちの満足感が伝わる。